

SANYOKASEI INDUSTRY COMPANY

磨き抜かれた技で、
あたりまえの安心を支える。

会社概要

会社名 有限会社 山陽化成工業
代表 代表取締役 菅谷 裕之
設立 1975年12月
資本金 300万円
本社 〒223-0057
神奈川県横浜市港北区新羽町669
TEL 045-542-3482
FAX 045-542-3338
HP <http://sanyokaseikogyo.co.jp>

事業内容 プラスチック製品加工及び販売
排水管施工・加工工事一式
塩ビパイプ加工及び販売
鋼製パイプ加工及び販売
ゴム支承補修工事（GSJテープ工法・K-PRO工法）
高速道路の維持修繕
その他工事
許可 神奈川県知事許可 第33477号
（管、とび・土工、塗装工事）

経営理念

たがいに切磋琢磨し、常に技術力の向上に努め 「安全」で「スピーディ」な施工をお客様に約束する。

山陽化成工業は社会インフラを支えるエキスパートとして、安全を守る仕事をしております。創業より私たちが大事だと考えるのは人財です。社員の育成に力を入れることは、技術力・人間力を高めることになり、最終的にお客様に高品質な施工を実現することができると考えております。世の中にはなくてはならない大切な仕事であることをスタッフ1人1人が自覚し、日々技術力の向上に努めます。

代表取締役 菅谷 裕之



事業内容

メンテナンス部門

高速道路の維持管理・修繕を行っております。トンネルや橋梁などの定期点検・定期清掃、事故があった際の復旧工事等、高速道路を安全で快適に利用できる環境を整備しています。

工事部門

高架排水装置設置工事

橋梁や高架道路における、塩ビパイプ排水装置の取り付けを行います。自社の工場設計・加工を行っており、一貫通貫した施工を行っております。

橋梁ゴム支承保護工事

■ K-PRO工法

K-PRO工法とは、オゾンによるゴム支承部の劣化を特殊なコーティング材K-Coat-R)で補修する方法です。ゴムの種類を選ばず様々な場面で施工ができ、耐オゾン性も高いため過酷な条件で使用されるゴム支承部の補修に適しています。

■ GSJテープ工法

GSJテープとは、EPDM加硫ゴムテープに自着性のある粘着性を積層したテープです。剥離紙を剥がして接合させ、転圧することで容易に施工することができます。耐候性にも優れ、仕上がりも安定しており、支承の表面をオゾンクラックから保護します。

Message

手に職つけよう。自分を鍛えよう。 一生、どこでだって通用するから。

資格取得支援制度はもちろん、働きながら手に職を身につけることができます。橋梁の補修工事は様々な知識や技術が必要になります。社会のライフラインに携わる工事だからこそ、働きながらどこにでも通用する技術を身につけることができます。

当社は人材育成に力を入れており、業界未経験の方でも安心して成長できる体制がございます。どんな現場、どんな状況でもしっかりと業務を遂行できるように、会社で一丸となって育成サポートを行っています。

しっかりと仕事を教えますので、目標を掲げて仕事に取り組みめる方、向上心がある方、まじめに努力出来る方、粘り強く取り組みめる方のご応募をお待ちしています。



一緒に働こう！

1日の流れ



朝礼



作業スタート



作業終了



帰宅



山陽化成工業の仕事は朝礼から始まります。7時45分から朝礼を行い、今日の現場の確認やそれぞれの担当を打ち合わせを行います。現場によって何が必要かを事前確認して、それぞれ現場に向かいます。横浜を拠点として、神奈川県内の高速道路の清掃や修繕を行い、日本の交通インフラでもある高速道路を安全に利用できるように、メンテナンスを行います。3人1組のグループで神奈川県内の高速道路を1日5ヶ所程度回ります。

安全運転でそれぞれの現場へ向かいます。車から落ちた落下物の収集や路上の清掃、道路の修繕を行います。担当するエリアは神奈川県内、朝礼で決めた役割に応じて作業を行います。高速道路は一般道路とは違い、危険が伴う場所でもあるので、常に緊張感を持って作業に取り組みます。作業を行う前の写真、作業後の写真を撮影して、次の現場に向かいます。

お疲れ様でした！今日の現場が終われば事務所に戻って報告書を作成します。作業した現場の写真をまとめたり、現場に持っていった材料を倉庫に戻して整理整頓を行います。普段使っている道具のメンテナンスや終礼で明日の打ち合わせを行います。事前準備を丁寧に行うことで、不測の事態を回避することができます。安全に作業を行うことができます。

定時退社が多いのも当社の特徴です。自然災害など緊急の事態がなければ、残業はほとんどありません。事故などが起こらない、「何もない日常」を守ることが、私たちの仕事です。高速道路は社会インフラであり、当たり前のように利用できる環境を、縁の下で支えます。施工や作業に必要な資格やスキルは、会社負担で取得できますので、働きながら技術を身につけていきましょう。